

雲の種類

The Types of Clouds



大気中の水分は、上空で^{びりゅうし}微粒子を^{しん}芯にして^{うんりゅう}雲粒となり、たくさん集まり^{ただよ}漂うことで雲となる。大気^{じょうけん}の条件によっては、さまざまな種類の雲が発生する。地上と上空の気温差が大きいと、雲が急速に成長して^{せきらんうん}積乱雲が発生する。「かみなりぐも」とも呼ばれる^よ積乱雲は、高さが1万mを超える場合があり、^{たつまき}竜巻、^{とつふう}突風、局地的大雨などをもたらし、^{さいがい}災害を引き起こすことがある。

雲の種類

